



みんなの合言葉

元気・根気・勇氣あるふじっ子



学校教育目標 「心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」

学校経営の基本理念

「一人一人を大切に、ひとつひとつを丁寧に」～ウィズコロナ・ポストコロナの学校を見据え～

めざす学校像



- 時代の要請に応える教育ができる学校
- ユネスコスクール（SDGsの推進）としての学校
- 安心・安全な学校
- 理科教育の授業実践例が発信ができる学校
- 保護者、地域から信頼される学校

めざす子ども像

- あいさつができる子ども
＜相手の顔を見てさわやかに＞
- そうじができる子ども
＜掃除は、自分のところ磨き＞
- 上級生として手本を示すことができる子ども
＜リーダーとしての自覚＞



めざす教師像

- 子どもの可能性を最大限に伸ばすことができる教師
- 子どもに「大切さ」を教えることができる教師
- 子どもに明るく接し、温かい言葉をかけることができる教師
- 個の特性を理解し、個に応じた支援ができる教師
- 保護者から信頼される教師

明るく 仲よく 正しく

研究テーマ

学びチャレンジリーディングスクール委嘱事業

自分の考えを説明することで、より妥当な考えをつくり出す子どもを育成するための理科学習指導の研究（藤松スタンダード）



あきらめないで努力する子ども



頑張る自分が大好きな子ども



健やかに学ぶ子ども

- 学習規律の徹く藤松小スタンダード
- 「わかる・できる」を実感できる学習（指導と評価の一体化）
- 各教科での資質・能力の育成と主体的・対話的な深い学びの視点からの授業改善（45分の授業展開の工夫）
- 情報活用能力の推進（プログラミング教育）
- SDGsの視点を踏まえた「総合的な学習の時間」等の充実
- 家庭学習及び補充学習の充実（自学ノートの作成・活用）
- 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と合理的配慮（「インクルーシブ、ユニバーサルデザイン」の視点に立った指導）
- 補充学習及び家庭学習の充実（3年生からの自学ノート）

- 自己肯定感に立った良好な人間関係の構築（特別活動での集団づくり）
- 「特別の教科道徳」の時間の質的向上（「私の道徳」「新版 いのち」等の活用）
- 道徳科の学習を通じた道徳性の育成（道徳的判断力・心情・実践意欲と態度）
- 北九州子どもつながりプログラムの活用
- 校内いじめ問題対策委員会の組織的対応
- 定期的ないじめアンケートや教育相談の実施（チャンス相談等の積極的生徒指導）
- 個別的な人権課題（同和問題、LGBT(Q)等）における指導計画の位置づけ
- 「北九州市特別支援教育推進プラン」に沿った特別支援教育推進体制の構築
- 「生活がんばりカード」等の積極実施
- 「キャリアパスポート」を活用したキャリア教育の推進

- 毎朝の健康チェックカードによる確認（熱37.5度以上、風邪症状等）
- 消毒等による感染症予防の徹底（換気、手洗い、フィジカルディスタンスの実施）
- 体育科の授業での振り返りの徹底
- 体力テストの結果を活用した授業改善と運動習慣の形成
- 「北九州市体力向上プログラム」の活用
- 持久走大会、なわとび集会の実施
- 健康教育（学校保健・学校安全・食育学校給食）の3本柱の視点による指導
 - ・栄養教諭を中心とした「食に関する指導」の推進
 - ・学校給食を「生きた教材」として活用（残食0、「食べることは生きること」）
- 豊かなスポーツライフの素地の育成（オリンピック・パラリンピックの活用）

保護者、地域から信頼される学校～「チーム藤松」を構築するための方策

＜地域との連携強化＞

- ・北九州市型コミュニティ・スクールとの一体的推（年2回会議の実施）
- ・保幼小中連携事業（緑丘中、西門司小、藤松保育園との連携）
- ・PTA、地域行事への積極的参加
- ・スクールヘルパー、教育ボランティアの活用
- ・防災訓練の実施

＜情報発信の強化＞

- ・学校からの情報発信（学級・学年、学校通信、学校HPの更新等）
- ・保幼小中連携事業（緑丘中、西門司小、藤松保育園との連携）
- ・一斉メール等の活用（不審者情報等は中学校区で共有）
- ・アンケートを活用した学校評価による学校改善

＜綱紀粛正の遵守＞

- ・危機管理体制の構築「さ・し・す・せ・そ」（報告・連絡・相談・記録の徹底）
- ・学校事故への予防と早期対応（首から上のケガは必ず病院へ、食物アレルギーの複数による確認）
- ・学校不祥事の根絶（個人情報漏洩、ハラスメント、体罰、飲酒運転等）
- ・教職員の人権感覚を高める校内研修（第三次とりまとめ等の活用）